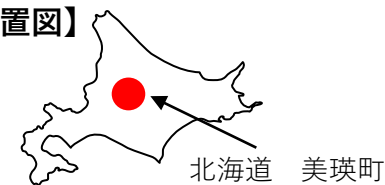


研修農場のハウスボイラーおよび加温機導入に伴う実習環境整備

- 美瑛町は畑作中心の農業が営まれており、小麦、てん菜、豆類、馬鈴薯等を主体とした輪作体系の確立を目指している。
- 新規就農希望者の受入れに向け、研修農場を活用した研修・相談体制を整備している。
本取組では、研修農場のトマト栽培用ハウスにボイラーおよび加温機を導入し、寒冷期でも安定した実習環境を確保することで、研修の質向上と就農準備の加速を図った。

【位置図】



北海道 美瑛町

取組前

- 美瑛町では新規就農者の確保に向けて研修農場のビニルハウスにてトマト栽培を実施しているが、寒冷期はハウス内の温度確保が難しく、研修期間や実習内容が制約されていた。
- 設備面においては、既存設備の老朽化により、温度確保が困難な場面があったほか、研修生からは、収益性の高い半促成栽培の実習に対する要望が強く、設備を強化することで研修生が目指す農業経営の実習環境を整備した。

取組内容

- R4年度
栽培用ハウスにボイラー・加温機を導入。
- R5年度、R6年度
トマト農家として新規就農を目指す研修生による活用。



取組後(成果)

- 設備導入により、寒冷期のハウス環境を安定化でき、栽培管理の継続が可能となった。
- 研修実施期間の変化
取組前：5月～10月
取組後：4月～10月
- 収穫期間の変化
取組前：7月～10月
取組後：6月～10月
- 新規就農者数
令和5年：3名
令和6年：2名
令和7年：3名

【サポート体制】

(美瑛町農業振興機構)
研修生の募集、研修カリキュラムの作成・調整・研修前後のフォローを実施

(美瑛町農業協同組合
上川農業改良普及センター)
栽培技術の指導や講義、出荷指導などを実施

(美瑛町)
新規就農時に活用できる補助金や資金融通についてサポート

新規就農者や研修生の声

- 寒冷期も作業を継続でき、栽培管理について実践的に学ぶことができた。
- 就農後の作業イメージが具体化し、準備の優先順位が整理できた。

サポート体制構築事業 活用年度：令和4年度

【問合せ先】 美瑛町 農林課 農業振興係
TEL：0166-92-4391
E-mail：nourin@town.biei.hokkaido.jp
HP：https://town.biei.hokkaido.jp/